

3月の新刊本

【日本文学】

- 「リヴァプールのパレット」
大崎 善生/著 KADOKAWA
集英社
- 「世界 99 上・下」 村田 沙耶香/著
- 「嵐をこえて会いに行く」
彩瀬 まる/著 実業之日本社
- 「初瀬屋の客 狸穴屋お始末日記」
西條 奈加/著 文藝春秋

【国内紀行】

- 「60 代大人旅の愉しみと工夫」
小暮 涼子/著 主婦と生活社

【医学】

- 「認知症の人がスッと落ち着く言葉がけ〇×ノート」
川畑 智/著 SB クリエイティブ

【料理】

- 「重ねて煮るだけレシピ 野菜ソムリエさやが教える 超かんたん！」
さや/著 飛鳥新社

【マーケティング】

- 「“おいしい瞬間”の撮影レシピ」
アマナ/著 玄光社

【旅行】

- 「世界遺産の絶景と教養 写真で世界が学べるガイド 130」
世界遺産アカデミー/監修 KADOKAWA

【YA】

- 「あの子を自由にするために」
アン・クレア・レゾット/作 横山 和江/訳 岩波書店
など…

時津図書館だより NO.258

オアシス

Oasis



2025年

4月

時津町立時津図書館／発行

西彼杵郡時津町浦郷 31-14

TEL 095-882-4436

FAX 095-881-2966

ホームページ <http://lib.togitsu.jp/>



春のごあいさつ

私が子どもの頃（ずいぶんと遠い昔になりましたが）、入学式の頃は桜の花が満開で、その下を胸を弾ませて登校したものです。薄ピンクの花が重なり合った枝が春風に揺れ、まるで門出を応援しているかのようでした。それが、いつの頃からか桜の開花時期はだんだん早くなり、入学式の頃は既に葉桜に。先日、お花見に行った公園で、真新しいランドセルを背負った女の子が桜の下で写真を撮ってもらっていました。女の子も、写真を撮る親御さんも嬉しそうで見ているこちらも温かい気持ちになりました。日本の国花が菊であることはよく知られていますが、実は桜も国花なのです。こんなにも桜の花に惹かれるのには、華やかに咲き、潔く散る、その姿に憧れを感じるからかもしれませんね。
（図書館 館長）

図書館カレンダー

4月	日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28	29
30	31						

【開館時間】

- ・火～金・日曜日
午前 10 時～午後 6 時(本館)
午前 10 時～午後 5 時(分館)
- ・土曜日(☆)
午前 9 時～午後 7 時(本館)
午前 10 時～午後 5 時(分館)

【休館日】

- 毎週月曜・最終金曜
- 祝祭日(月曜と重なった場合は翌日の火曜も休館。但し 5/5 と 11/3 は開館)
- 毎月 1 日(分館のみ・土日は開館)
- 年末年始(12/29～1/3)

4月に入る予定の最新刊です

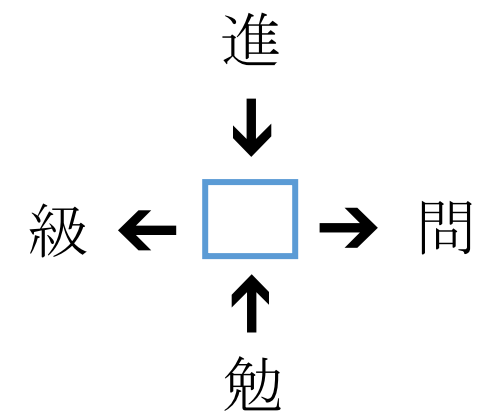
- 「長くなった夜を、」 中西 智佐乃/著 集英社
- 「受け手のいない祈り」 朝比奈 秋/著 新潮社
- 「作家の黒歴史 デビュー前の日記たち」
宮内 悠介/著 講談社
- 「もう枯らさない！観葉植物の育て方」
谷奥 俊男/著 翔泳社
など…

わかったかな？ ちょっと脳トシ 3月号の答え

答え：別
送別、別府、別冊、分別

わかるかな？ ちょっと脳トシ 4月号のクイズ

穴埋め問題：口の中に漢字を入れて、熟語を完成させましょう。



答えは5月号で

「時津図書館講演会」が開催されました

3月29日(土)に中島恵美子氏（長崎外国語大学）をお招きして講演会「司馬遼太郎と長崎～『長崎文学散歩』より～」を開催しました。

長崎を舞台とする多くの歴史小説を書いた司馬と長崎のつながりやゆかりの場所について、写真を交えながらお話をいただきました。ご参加くださった皆様ありがとうございました。

次回の「時津図書館講演会」も、お楽しみにしてください。



3月のリクエスト状況（一般書）

- ★「C線上のアリア」 湊 かなえ/著 朝日新聞出版
- ★「月収」 原田 ひ香/著 中央公論新社
- ★「猫の刻参り 三島屋変調百物語拾之続」 宮部 みゆき/著 新潮社
- ★「逃亡者は北へ向かう」 柚月 裕子/著 新潮社
- ★「月とアマリリス」 町田 そのこ/著 小学館
- ★「追跡」 伊岡 瞬/著 文藝春秋
- ★「お勝手のあん 11 迷うころ」 柴田 よしき/著 角川春樹事務所